



いばらき県議会だより

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/mobile/gikai/>

「いばキラTV」 <https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



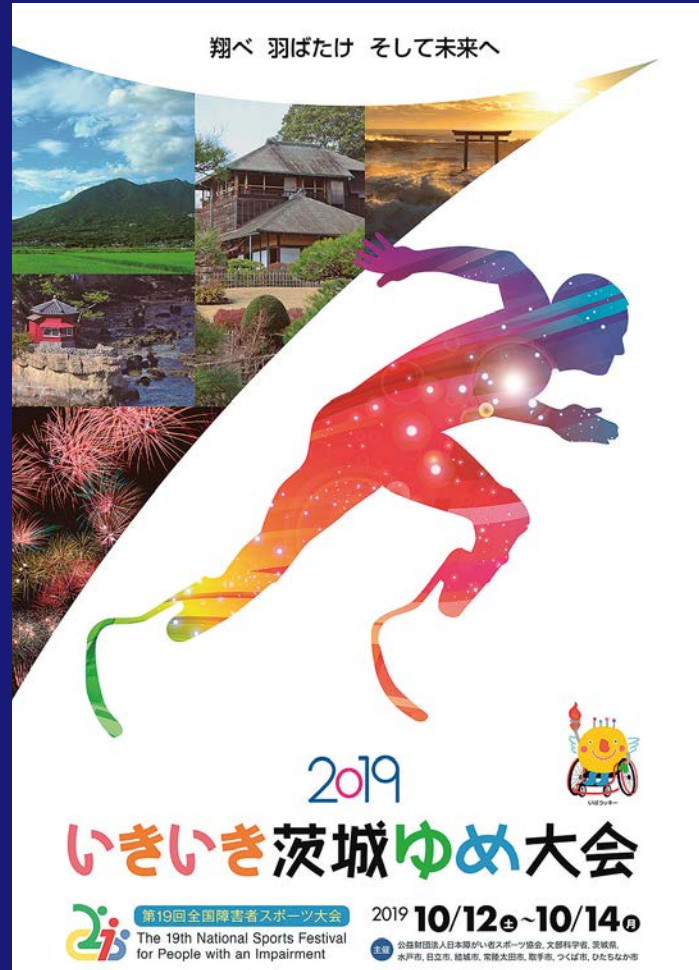
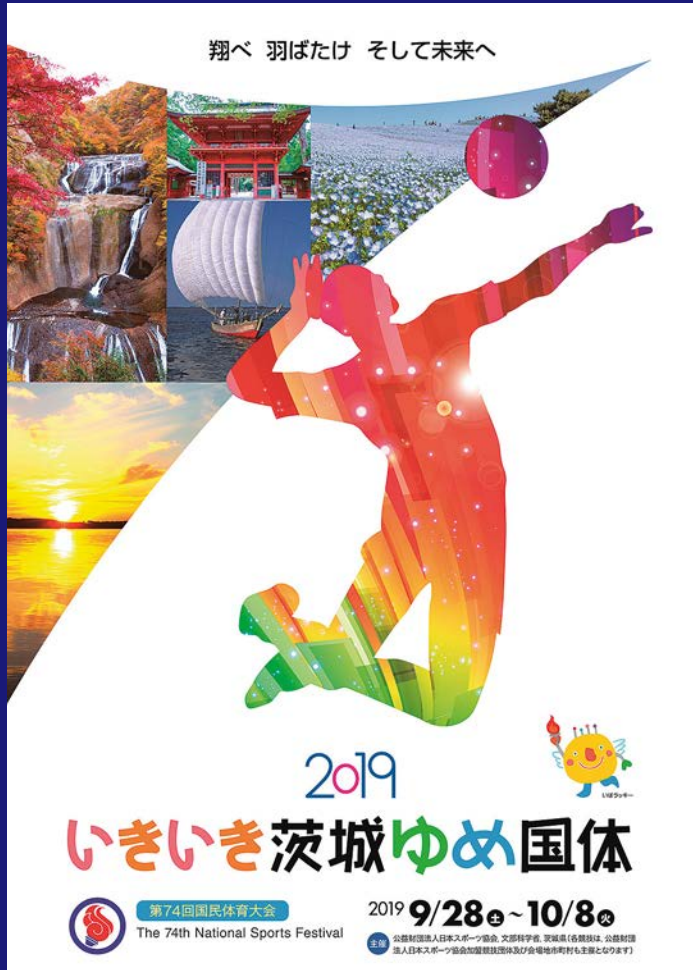
発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.208

天皇陛下御即位記念 いきいき茨城ゆめ国体2019 いきいき茨城ゆめ大会2019



天皇杯・皇后杯獲得を目指して がんばれ、チームいばらき!!



本県では45年ぶり2回目の開催となる茨城国体「いきいき茨城ゆめ国体」が9月28日(土)～10月8日(火)に、県内初の全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」が10月12日(土)～10月14日(月)に、県内各地で開催されます。

令和となって初めての両大会開催です。地元茨城の選手団の活躍、そして大会の成功に向けて、茨城県民全員で、この歴史あるスポーツの祭典を盛り上げていきましょう!

※両大会の詳細については、「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」のホームページをご覧ください。<https://www.ibarakikokutai2019.jp/>

第二回定例会の概要

令和元年第二回定例会は、六月六日から六月二十四日まで十九日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、「天皇陛下御即位に際しての賀詞奉呈について」や、医師等医療従事者の確保対策の充実、強化を求める意見書など、知事から、令和元年度茨城県一般会計補正予算、茨城県交通安全条例の一部を改正する条例などが提出されました。

一般質問は、先端技術の社会実装の推進、自治体や中小企業へのSDGsの普及・推進、大洗・常陸那珂両港区における新規航路開設に向けた取り組みなどの項目について行われました。

(一)～(三)面

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、RPAなどの導入、次世代施設園芸コンソーシアムの取り組み、自転車損害賠償保険等の加入促進、借楽園の魅力向上策、県外からの医師確保強化事業、中高一貫教育校設置に係る不安解消策などが議論されました。(四面)

予算特別委員会では、主要農作物種子法廃止後の県の取り組み、女性の再就職への支援、難聴と認知症の関連性と補聴器の適切な使用促進などについて質疑が行われました。(五面)

産業の育成・振興に関する調査特別委員会では、執行部から農林水産業の成長産業化や新しい時代に求められる「人財」の育成などの取り組みについて現状を聴取し、活発な議論が行われました。(五面)

今回の定例会では、予算、条例、人事報告、請願などの二十五件の議案が可決、同意、承認されました。

第2回定例会の 主な日程

令和元年第2回定例会は、次の会期日程で開催されました。

6月6日(木)	本会 議	(開会、知事提出議案説明)
6月11日(火)	本会 議	
6月12日(水)	本会 議	(一般質問・質疑)
6月13日(木)	本会 議	
6月17日(月)	常任委員会	
6月19日(水)	本会 議	
6月20日(木)	予算特別委員会	
6月21日(金)	産業の育成・振興に関する調査特別委員会	
6月24日(月)	本会 議	(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者

6月11日(火)	鈴木 将 議員 (いばらき自民党)
6月12日(水)	石塚 隼人 議員 (いばらき自民党)
6月13日(木)	山下井 浩 議員 (いばらき自民党)
6月13日(木)	中村 はやと 議員 (無所属)
6月13日(木)	沼田 和利 議員 (新自民クラブ)
6月13日(木)	下路 健次郎 議員 (いばらき自民党)
6月13日(木)	戸井田 和之 議員 (いばらき自民党)

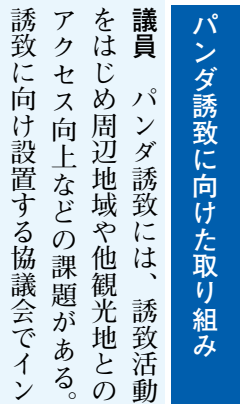


鈴木 将 議員
いばらき自民党
村本 公 立 市 選 出
一括方式

自治体や中小企業へのSDGsの普及・推進

議員 県が新たな総合計画に位置付けた「SDGs」の達成に向けた取組の加速化の実現には、自治体や中小企業が当事者意識を持って取り組むことが重要であるが、さらなる普及・推進への所見は、

知事 「新しい茨城」づくり推進会議をSDGsの推進組織と位置付け、多様な主体と連携・協働し取り組んでいく。県内全市町村に研修会などの機会を捉えて浸透を図り、セミナー開催を通じ中小企業の理解促進にも努める。



村本 修司 議員
公 立 市 選 出
一括方式

パンダ誘致に向けた取り組み

議員 パンダ誘致には、誘致活動をはじめ周辺地域や他観光地とのアクセス向上などの課題がある。誘致に向け設置する協議会でインフラ整備も含め積極的な議論が必要と考えるが、今後の取り組みは、

知事 パンダ誘致に関する協議会を六月末までに設置できるよう調整を進めている。周辺環境の整備などの課題については、誘致の進捗を勘案しつつ協議を進めていく。(ほかに、特別支援教育に関する教諭の資質向上、危険なブロック塀の安全対策なども質問)



上野動物園のパンダ



石塚 隼人 議員
いばらき自民党
坂東市・五霞町・境町選出
一括方式

有害使用済機器の保管を行う事業者への対策

議員 常総市内の廃材置き場で発生した火災で、火災元の事業者への対応状況は。また今後、有害使用済機器の保管を行う事業者に対し、保管基準の徹底を図るため、どのように対応していくのか。

県民生活環境部長 当該事業者には改善指示を行い、再度立ち入り検査を実施予定であった。今後、燃え殻なども確実に撤去するよう、頻りに立ち入り検査を実施する。また、他事業者に対しても、監視指導体制の強化を図る。

芽吹大橋を含む県道つくば野田線の渋滞対策

議員 渋滞緩和の一番の対策である芽吹大橋を含む県道つくば野田線の四車線化について、また、下総利根大橋有料道路の無料化に伴う坂東市管理の広域農道の県への移管について、それぞれ所見は、

土木部長 芽吹大橋の四車線化は、今後の交通状況の変化を踏まえ、千葉県とも連携し、検討していく。広域農道の県への移管は、将来的な交通需要を見据えた上で、坂東市と協議、検討していく。(ほかに、宇宙ビジネスの今後の展開、菅生沼の環境整備なども質問)



慢性的な渋滞が発生する芽吹大橋



鈴木 将 議員
いばらき自民党
つくば市選出
分割方式

先端技術の社会実装の推進

議員 年齢や障害の有無、居住地域などにかかわらず、誰もが安心して、快適に暮らせる社会の実現のため、先端技術の社会実装の推進が必要だと考える。県の対応は、

知事 本県は、道路実延長が全国二位と自動車依存度が高い。生活の基盤となるモビリティの課題解決を目指し、先端技術を活用したモデル事業を行う。自動運転や顔認証などの先端技術を有する企業や筑波大などと協議会を設立し、一日も早い社会実装に取り組む。

筑波山の魅力向上の取り組み

議員 筑波山を安全・快適に楽しんでもらうため、トイレの老朽化対策や登山道の安全対策の推進が必要だと考える。県の対応は、

県民生活環境部長 つくば市などと連携し、トイレについては、浄化槽の改修といった老朽化対策などに取り組む。登山道については、常時、安全性の把握に努めており、修繕などにより安全の確保を図る。(ほかに、「ソサエティ5.0」を見据えて目指すべき教育の在り方、災害時の福祉支援体制の整備なども質問)



夏の田園越しに望む筑波山



長谷川 重幸 議員
いばらき自民党
鉾田市・茨城町・大洗町選出
一括方式

大洗・常陸那珂両港区における新規航路開設に向けた取り組み

議員 ドライバー不足などにより陸上輸送コストが高騰する中、海上輸送体制の充実を図ることが、産地や企業の競争力を高める上で大変重要である。両港区から西日本方面を結ぶ、新規航路の開設に向け、どう取り組んでいくのか。

知事 物流環境が変化する中、将来的な航路開設に向け、北関東地域から西日本向けの貨物動向の把握・分析を行うとともに、荷主企業などへの積極的なポータルサービスに取り組んでいく。



大洗・苫小牧間を航行する「さんふらわあ」

公立学校における校長登用の在り方

議員 教育を取り巻く環境は複雑・多様化し、校長の責任と役割はますます大きくなっている。そのため、校長はある程度長い期間、ひとつの学校に在職し、学校経営に当たるべきと考えるが、所見は、

教育長 校長が一定期間、同一校に在職し、学校経営に当たる方が、効果的な面もあると認識している。在職年数や登用年齢の見直しを検討するほか、若手のリーダー的教員の育成にも取り組んでいく。(ほかに、中小農家への経営支援、小鶴西交差点周辺の安全対策なども質問)



山野井 浩 議員
いばらき自民党
つくばみらい市選出
一括方式

キャッシュレス決済の県内普及

議員 キャッシュレス決済は、事業者の生産性や消費者の利便性の向上などのメリットがある。そのため、中小店舗でも導入を進めるべきと考えるが、その手法は、

知事 キャッシュレスフェアやキャンペーンの実施などで、中小店舗への導入を促進する。県有施設についても、観光施設や美術館などへ導入するほか、市町村へも働きかけるなど戦略的に進めていく。

医療的ケア児への支援

議員 医療的ケア児とその家族の支援施設には、地域的な偏在がある。支援体制の早急な充実が必要と考えるが、所見は、

保健福祉部福祉担当部長 支援施設の偏在を解消するため、施設を新設する際の助成制度を新たに設けた。また、様々なニーズを踏まえて必要なサービスを総合的に調整し、関係機関とつなぐコーディネートターの養成研修を開催するなど、支援体制の充実に努めていく。(ほかに、中通川の整備、農福連携による障害者の就労機会の拡大なども質問)



5月につくば市で開催されたキャッシュレスフェアの様子

一般質問(要旨)



議員 属出 中村 無古 是と 所市 河一 括方式

県西地域の人口流出対策

議員 県西地域は人口流出が著しい地域である。これからは、地域の特性に応じた対策や、若者の働く場を確保することが重要だと考えるが、今後どう進めていくのか。
知事 本社機能の移転など、新たな雇用や若者が望む質の高い雇用の創出に今後も積極的に取り組む。また、東京圏との近接性を生かし、この地域に住みながら通勤という生活スタイルを構築するため、若者がふるさとに愛着を持てる市町村の取り組みを支援していく。



議員 属出 沼田 和利 新自 民市 牛久 牛一 括方式

県南地域の観光振興

議員 県南地域の観光振興は、関係者が地域の将来ビジョンを共有しながら進める必要があると考えるが、どう取り組むのか。
知事 県南地域は、多くの特色ある観光資源に恵まれている。点在する観光資源を磨き上げ、結び付けることで、戦略的に稼げる観光地域へ転換できると考えている。地元市町村や関係団体との連携をより強化しながら、新たな周遊ルートの設定や、観光資源の発掘などを積極的に進めていく。

医師の目線に立った医師確保対策

議員 医師にとつて、不安なくキャリアアップできる環境整備が最も大切だと考える。今後、医師確保にどう取り組んでいくのか。
保健福祉部長 最先端のシミュレーション機器を使用したトレーニングなど、充実した研修環境を積極的に発信する。また、研修をより実践的なものと発展させ、キャリアアップ支援の充実を図ることで、医師の確保を進めていく。(ほかにも、県議会議員選挙の投票率向上、教職員の立場に寄り添った不祥事防止対策なども質問)
医師が不安なくキャリアアップできる環境整備



医師が不安なくキャリアアップできる環境整備

県内への企業誘致

議員 研究所や本社の誘致に加え、駅周辺ビルの空きスペースなどを活用したサテライトオフィスのような小規模オフィスの誘致も必要と考えるが、どう取り組むのか。
産業戦略部長 サテライトオフィスの設置事業者に対する補助金を創設し、活用を働きかけている。駅周辺のビルの空きスペースについても、関係者の意向を踏まえ、オフィス整備の支援や、入居企業の誘致に積極的に取り組んでいく。(ほかにも、市町村連携の推進、小児医療費助成の拡充なども質問)



指定国で観光資源を誇る牛久市重要文化財の牛久シャット



議員 属出 下路 健次郎 いはらき自 東海 村選 東一 括方式

県北振興の在り方

議員 県北地域の将来像や振興施策が、市町村や住民に届いていないと感じる。実効性ある県北振興のため、拠点地域や客観的達成目標を想定し、市町村と連携した取り組みが必要と考えるが、所見は。
知事 県と市町村によるゾーン別の意見交換会などを通して、県北地域の目指すべき方向性や目標を共有する。また、県北振興チャレンジプランの施策を中心にPDCAサイクルを回し、効果的な県北振興に取り組む。



議員 属出 戸井田 和之 いはらき自 石岡 市選 石一 括方式

茨城県フラワーパークのリニューアル

議員 フラワーパーク存続の活動を継続してきた。知事による十八億円の新規投資に期待している。どんなコンセプトで一新するのか。
知事 「見る」から「感じる」をコンセプトとし、令和四年度に二十五万人の来場を目指す。県産食材を使った料理・スイーツのレストランやインスタ映えスポットを整備し、フラワーウエディングも企画する。さらに、案内の設置や進入方法も関係機関と協議を進め、魅力的施設として再生させる。



期待が高まるリニューアルの茨城県フラワーパーク

県北地域を支える地域人材の育成

議員 持続可能な県北振興のためには地域人材の育成が重要である。県外に進学・就職した高校生が戻ってこない現状があるが、地域人材の育成にどう取り組むのか。
教育長 これまでも中学・高校での職場体験などにより地域を支える人材育成に取り組んできた。今後、高校が同窓会と連携したり、卒業生にSNSで地域情報を継続的に発信することで、地元貢献意識の醸成などの工夫を促していく。(ほかにも、県北地域における農業振興、地域医療の充実なども質問)



地元企業で実習を受ける高校生

小中学校における男女同室での着替えへの対応策

議員 小中学校では、体育の授業などで男女同室での着替えが見られる。文部科学省指針も踏まえ児童生徒への配慮を要望する。どう認識し、改善に取り組むのか。
教育長 更衣室がないなどの理由から、制服の下に体操服を着用し、男女同室で着替えをしている学校もあるが、思春期の児童生徒へのより繊細な配慮は必要である。各市町村教育委員会に、実態に応じた工夫改善を指導・助言していく。(ほかにも、臓器等移植医療、理容業の存続危機と振興策なども質問)

決算特別委員会を設置しました

平成三〇年度茨城県一般会計決算、同特別会計決算および同公営企業会計決算を総合的かつ一体的に審査するため、十五人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置しました。選任した委員は次のとおりです。

委員長	西野 一	委員	谷島 洋司
副委員長	中村 修	委員	遠藤 実
委員	飯塚 秋男	委員	川口 政弥
委員	加藤 明良	委員	高崎 康成
委員	星田 弘司	委員	村田 進
委員	水柿 一俊	委員	高橋 順一
委員	高橋 勝則	委員	藤島 正孝
委員	金子 晃久	委員	

- ### 今定例会で可決された議案など
- 議員提出
- 天皇陛下御即位に際しての賀詞奉呈について
 - ◆意見書
 - 医師等医療従事者の確保対策の充実・強化を求める意見書
 - ◆その他
 - 教育委員会委員の任命について
 - 水戸市の中核市指定に係る申し出について
 - ◆知事提出
 - 令和元年度補正予算関係
 - 一般会計予算
 - ◆条例の廃止
 - 取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査委員会条例を廃止する条例
 - ◆報告
 - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について
 - ◆条例の一部改正
 - 茨城県行政組織条例等の一部を改正する条例
 - 茨城県交通安全条例の一部を改正する条例
 - 大気汚染防止法に基づき排出基準を定める条例の一部を改正する条例
- 請願
- 高等学校における演劇鑑賞教室実施に関する請願

質問方式について

議員は次のいずれかの質問方式を選択できます。

- 一括方式 質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。
- 分割方式 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

※1 【サテライトオフィス】…企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィス。
※2 【PDCAサイクル】…Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字を取ったもの。計画から改善までを一貫して行い、さらにそれを次の計画、実行に反映しようとする事業手法。

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

総務企画委員会

次世代施設園芸コンソーシアムの取り組みは技術導入による増収効果の検討を行う

問 四月に設立された茨城県次世代施設園芸コンソーシアム^{※3}について、どのような取り組みをしていくのか。

答 トマト、キュウリなどへの次世代の高度環境制御技術の導入による増収効果の検討などを、農業者、外部有識者ほか関係者で行っていく。七戸を実証圃として、園芸研究所で行った試験結果などに基き、三年間で現在の一・五〜二・三倍の収量を目指す。

問 アンテナショップのイバラキセンスにおける市町村との連携や、来県PRの戦略はどのようなものか。

答 各市町村に呼びかけ、主

RPAなどを導入する県の業務の選定の考え方は横展開が可能な業務など導入効果が高い業務に導入する

問 RPA^{※1}やAIの導入により、県職員が働きやすい環境整備や県民サービスの向上を図るべきと考える。導入業務の選定の考え方は。

答 例えば、昨年度にRPAの実証実験をした予算令達登録などの業務は、横展開により全庁的に実施し効率化を図れるが、波及効果が限定的な業務もある。そのような効果が高い業務に導入していく。

問 茨城空港への就航路線の拡大を図るべきと考える。チャーター便も含めた路線誘致の取り組みは。

答 八月にベトナムへのチャーター便の運航が予定さ



イバラキセンスでのPRイベントの様子

催イベントを実施いただけよう周知・働きかけを行っている。また、イベントの際には物販と併せ、観光の情報発信にも努めている。

(ほかに、「常陸の輝き」^{※4}の供給体制の確立、外国人観光客の誘客促進なども質問)



RPAなどの活用による県庁の業務改革を(写真はRPAのイメージ)

れている。今後引き続き、LCC^{※2}会議など航空会社が集まる会議を活用して、アジア圏を中心に新規路線の誘致に取り組みしていきたい。

(ほかに、県総合計画の推進のための財政運営、公共交通へのAIの導入なども質問)

土木企業委員会

防災環境産業委員会

日本一の公園に向けて偕楽園の魅力向上の具体策は検討会で議論し具体策を検討していく

問 偕楽園有料化に伴う魅力向上の具体策は。また、料金制度は今後の状況に応じて見直していく姿勢が重要であると考えるが、所見は。

答 魅力向上の具体策については、検討会で議論し、偕楽園が日本一の観光周遊拠点となるよう検討していく。料金制度については、運用状況やさまざまな意見を勘案しながら柔軟に対応していく。

問 茨城県企業公社と茨城県開発公社の合併に向けた検討について、合併によりどのような相乗効果が期待できるか。

答 企業公社は企業局が実施する水道事業を補完し、開発

自転車損害賠償保険等の加入促進目標は加入率100%に近づけるよう啓発に努める

問 茨城県交通安全条例の一部改正に基づく自転車損害賠償保険等の加入促進は大切な取り組みである。加入促進の目標や義務化をどう考えるか。

答 今回の改正では加入は努力義務であるが、加入率が100%に近づくよう啓発に努める。事故状況や加入状況を見て、義務化も検討していく。

問 常総市の火災の場合など、有害使用済機器が不適切に保管されていた場合に、適用される罰則はあるのか。また、事業者からの改善状況報告後、放置されていた理由は。

答 行政処分違反した場合は、や届出義務に違反した場合は、



梅まつり開催時の偕楽園

公社は工業団地整備を実施している。県では企業誘致を総力的に進めており、合併によって、より戦略的な企業誘致ができるという相乗効果を期待している。

(ほかに、国道三五四号の整備状況と今後の見通し、生活道路の安全確保なども質問)



自転車の安全利用を

適用される罰則がある。事業者の報告から改善が進められているとの認識だったが、改善の途中でも確認が必要だった。今後改善していく。

(ほかに、茨城県外国人材支援センター、避難勧告等発令の基本的考え方なども質問)

文教警察委員会

保健福祉医療委員会

中高一貫教育校の設置に係る不安解消に向けた対応は各学校の詳細を決定し、丁寧に説明していく

問 中高一貫教育校の設置について、児童や保護者など多くの方が不安を抱えている。これまでの対応状況は。

答 入試の方法、部活動、一学年一学級による人間関係の固定化など、多くの意見をいただいている。今夏の学校説明会までに詳細を決定し、丁寧に説明するなど、関係機関とも連携して取り組んでいく。

問 ニセ電話詐欺に担当する少年たちは、詐欺グループの道具にされ、被害者の側面もある。少年の健全育成のため、詐欺に担当させない取り組みが重要だと考えるが、所見は。

答 ポスターによる広報啓発

県外からの医師確保強化事業の内容は県民からの医師紹介制度などにより必要医師を確保する

問 本定例会に補正予算の議案が提出された「県外からの医師確保強化事業」の内容は。

答 最優先の医療機関・診療科の医師十二人を確保するため、全国からの募集などにより県職員として医師を採用するほか、県民からの医師紹介制度など五つの取り組みである。寄附講座^{※5}の設置とともに全力で取り組み、できるだけ早期の医師確保を目指す。

問 性的マイノリティへの支援策勉強会での結果を踏まえ、今後どのように進めるのか。

答 「パートナーシップ宣誓制度」で、性的マイノリティの県民が宣誓書を提出し、県



並木中等教育学校での授業風景

や、学校と連携した非行防止教室の開催など、規範意識の向上に取り組んでいる。今後、あらゆる機会を通じて、対策を講じていく。

(ほかに、遠隔教育の取り組み、子どもの安心安全の確保なども質問)



早期の医師確保を

による宣誓受領書の交付により、県管住宅への入居申請や、病院での手術の同意などが可能となるよう関係機関との連携を図っていききたい。

(ほかに、保健所の再編、幼児教育・保育の無償化への対応なども質問)

ことば ※4【常陸の輝き】…県が開発したデュロック種雄豚「ローズD-1」を活用して生産する新たな銘柄豚。平成30年12月から販売開始。筋肉内脂肪含量が高く、柔らかく、旨みや香りの良い肉質が特徴。
 ※5【寄附講座】…県などから大学などへの寄附により設置する講座。医療に関する教育研究活動の一環として大学から医療機関への医師派遣が行われる。

予算特別委員会

●質問者

6月20日(木)

島田 幸三(いばらき自民党)	萩原 勇(いばらき自民党)
設楽 詠美子(県民フォーラム)	八島 功男(公明党)
江尻 加那(日本共産党)	加藤 明良(いばらき自民党)
村田 康成(新自民クラブ)	金子 晃久(いばらき自民党)
	島田 幸三委員(自民)

る支援、医師偏在への対応と医療政策なども質問)

江尻加那委員(共産) 認知症の最大危険因子が難聴との報告もあるが、補聴器購入費が高額であるため、日本では欧米に比べて補聴器使用率が低い。難聴と認知症の関連性、補聴器の適切な使用促進について、どう考えるか。

保健福祉部長 国でも難聴は認知症のリスク要因の一つとしている。補聴器使用による認知症予防効果の検証も開始していることから、その動向を注視していく。

(ほかに、借楽園の有料化、東海第二原発の再稼働なども質問)

村田康成委員(新自) 本県では医師多数区域と鹿行医療圏のような医師少数区域とで隔たりがあり、危惧している。医師偏在の早期解消に向けた抜本的対策をお願いしたいが、所見は。

保健福祉部長 昨年の医療法改正に伴い、医師確保計画を策定することとなった。本計画に記載が想定される地域枠制度^{※2}の運用や大学との連携による医師少数区域への医師派遣など実効性ある医師偏在対策を進めていきたい。

(ほかに、神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合なども質問)

金子晃久委員(自民) 火災が発生した常総市の古物業者と同様の事業者に対する再発防止対策は。また、廃プラスチックの処理に係る今後の方針は。

県民生活環境部長 事業者の保管状況を確認するため、緊急に立入検査を進めている。引き続き、改善が必要な事業者に指導していく。また、市町村や事業者からの相談などに助言や情報提供を行い、県内での廃プラスチック類の処理体制の充実を図る。

(ほかに、茨城県消防広域応援の体制、消防団の活動、情報共有なども質問)

加藤明良委員(自民) 創設二十五周年の水戸ホーリーホックに対し、J1昇格への期待が高まっている。大きな経済効果も見込まれるJ1昇格に向け、県のさらなる支援を望むが、所見は。

知事 チームが上位にいるこの好機を捉え、県広報紙「ひばり」など、各種媒体を活用した情報発信を検討する。さらに、チームやホームタウン協議会とも連携し、ホームゲーム観戦のバックアップなどの支援方策も検討する。

(ほかに、借楽園周辺エリアの魅力向上、高齢運転者の事故防止なども質問)

八島功男委員(公明) 大津市で起きた交通事故は、幼稚園や保育園の園児の散歩コースの交通安全対策の必要性を明確にしたが、今後の取り組みは。

警察本部長 六月末をめどに園児の散歩コースの危険箇所を把握して横断歩道の新設や塗り直し、交通規制の見直しなど必要な対策を検討する。「キッズゾーン」^{※3}創設を検討するなどの国の交通安全緊急対策も踏まえ、安全確保を進める。

(ほかに、総合教育会議と新しい教育大綱の策定、取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査結果なども質問)

萩原勇委員(自民) 今後はAIでいかに社会課題の解決を実現できるかが重要になり、AIを活用した手話通訳システムを開発できれば素晴らしいことである。他県に先駆けてAI活用を推進してもらいたい。所見は。

産業戦略部長 県民生活をより豊かにするため、筑波大学などとの連携を一層強化しながら、AIの社会実装に積極的に取り組み、産業振興や県民生活の向上に努めていく。

(ほかに、児童相談所の強化、外部や地域と連携した体育授業なども質問)

茨城県議会ICT化検討会議を開催しました

本会議は、今年3月に議長の諮問機関として、12名の委員で設置されました。

5月の第1回会議(5月17日開催)では、今後のスケジュールを決定するとともに、執行部や議会事務局からICT化に関する本県の状況について、聴取を行い、意見を交わしました。

6月の第2回会議(6月7日開催)では、自治体へのペーパーレス議会システムの導入実績を有する企業の協力を得て、端末などのデモンストレーションを実施しました。また、議会事務局から他の都道府県議会の状況などについて、聴取を行いました。

今後、議会審議の充実や議会運営の効率化・活性化につながるよう、引き続き検討を進めてまいります。



産業の育成・振興に関する調査特別委員会を開催しました

本委員会は、県内産業の育成や振興に関する諸方策の在り方について調査検討を行うため、今年3月に15名の委員で設置されました。

第1回委員会(5月27日開催)では、調査方針および調査活動計画を決定しました。また、内閣官房日本経済再生総合事務局から事務局次長の平井裕秀氏をお招きし、国の成長戦略などについて意見聴取を行いました。執行部からは、質の高い雇用の創出や新産業育成と中小企業などの成長について取り組みの現状を聴取し、意見を交わしました。

第2回委員会(6月21日開催)では、執行部から農林水産業の成長産業化や、多様な働き方を促進するための環境づくり、新しい時代に求められる「人財」の育成などの取り組みの現状を聴取し、活発な議論を行いました。

今後、第4回定例会での調査結果の報告に向け、引き続き調査検討を進めてまいります。



委員会活動

※「いばキラTV」(<https://ibakira.tv>)で委員会の県内調査の様子を配信しています。

総務企画委員会 (萩原勇委員長)

産学連携の取り組みと空き店舗を活用した街の賑わいづくりの取り組みを調査 (5/20)

筑波大学国際産学連携本部 (つくば市)

筑波大学国際産学連携本部は、大学の産学連携を一括してマネジメントし、民間との共同研究や、大学発ベンチャーの育成などに積極的に取り組み、研究成果を通じて産業や社会の発展に貢献しています。

同本部の概要や産学連携の取り組みについて説明を受けるとともに、筑波大学発のベンチャー企業である(株)Waisportsジャパンの取り組みについて説明を受けました。



産学連携の取り組みについて説明を受ける委員

(株)TMO結城 (結城市)

(株)TMO結城は、空き店舗を活用した街の賑わいづくりの取り組みとして、結城市内の古い呉服店をシェアスペース「ゆいのわ」として改装しました。

「ゆいのわ」は、イベントや勉強会、仕事などに使用できるほか、カフェも併設されており、地域の交流の拠点としても活用されています。

「ゆいのわ」の概要や、結城の歴史的な街並みや地場産業などの魅力を発信する「結(ゆい)プロジェクト」の概要について説明を受けた後、施設を視察しました。



シェアスペース「ゆいのわ」について説明を受ける委員

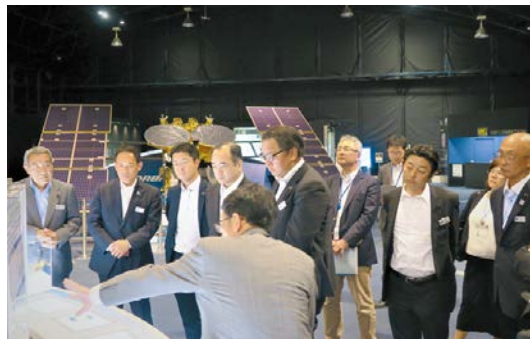
防災環境産業委員会 (岡田拓也委員長)

宇宙開発の最先端の取り組みと自主防災活動の取り組みを調査 (5/16)

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
筑波宇宙センター (つくば市)

筑波宇宙センターは、人工衛星の開発や運用およびその観測画像の解析、国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟を用いた宇宙環境利用や宇宙飛行士養成、ロケット・輸送システムの開発と技術基盤確立のための技術研究推進などを通じ、日本の宇宙開発の中核センターとして、宇宙開発の最先端分野の研究・開発・試験といった多彩な活動を行っています。

筑波宇宙センターの概要や取り組みについて説明を受けた後、宇宙ステーション運用棟や展示館を視察しました。



筑波宇宙センター内を視察する委員

常総市における自主防災活動の取り組み (常総市)

常総市の根新田(ねしんでん)町内会は、携帯電話を活用した「SMS一斉送信システム」を運用しており、平成27年9月の関東・東北豪雨災害の際、大きな効果を発揮しました。また、「マイ・タイムライン」の作成やホームページでの「防災用カメラ」の映像公開など、積極的に自主防災活動に取り組んでおり、「平成30年度 防災まちづくり大賞 総務大臣賞」を受賞しています。

根新田町内会の豪雨災害の被災状況や復旧活動および取り組み内容について説明を受けた後、根新田町内会を視察しました。



自主防災活動の取り組みについて説明を受ける委員

保健福祉医療委員会 (戸井田和之委員長)

地域包括ケアの取り組みと地域医療の現状と課題を調査 (5/9)

地域医療センターかさま (笠間市)

地域医療センターかさまは、笠間市立病院・地域包括支援センター・保健センター・子育て世代包括支援センターなどが1カ所に集約され、重複機能を集約・共有化することで、保健・福祉・医療が連携した地域包括ケアの拠点として、さまざまなサービスを提供しています。

センターの概要や、笠間市における地域包括ケア体制などの説明を受けた後、施設内を視察しました。



地域包括ケア体制の説明を受ける委員

茨城県西部メディカルセンター (筑西市)

茨城県西部メディカルセンターは、筑西・桜川地域において、入院治療や早期手術などが必要な患者を対象として2次救急医療までを完結できる病院を目指し、平成30年10月1日に開院しました。

地域医療の状況・課題や筑西・桜川地域の公立病院等再編整備の経過、今後センターが目指すところなどの説明を受けた後、ヘリポートや病棟などの施設を視察しました。



茨城県西部メディカルセンター内を視察する委員

閉会中の

営業戦略農林水産委員会 (加藤明良委員長)

江戸時代の商家を改築した観光施設と6次産業化の取り組みを調査 (5/15)

お休み処 坂長 (古河市)

「お休み処 坂長」は、登録有形文化財に指定された江戸時代の商家を改築した新たな観光施設で、特産品を販売するほか、飲食店やギャラリーを備え、市民の交流の拠点ともなっています。

施設の概要や取り組みなどについて説明を受けた後、蔵を改築した施設などの視察を行いました。



施設を視察する委員

倉持ピッグファウム(株)
「ぶうーぶー～豚職人工房～」(下妻市)

倉持ピッグファウム(株)は、種豚の生産から高品質な豚肉の生産、加工、販売までを行っており、6次産業化に係る総合化事業計画の認定を受け、「伝説の下妻金豚」ブランドとして販売しています。

同社の概要や販売戦略等について説明を受けた後、直営店の視察を行いました。



ブランド豚の販売戦略について説明を受ける委員

土木企業委員会 (島田幸三委員長)

茨城港常陸那珂港区整備事業と都市計画道路鮎川停車場線整備事業を調査 (5/10)

茨城港常陸那珂港区整備事業 (ひたちなか市・東海村)

本港区は、首都圏の経済活動などを支援すると同時に、東京湾沿岸地域の港湾物流機能を補完する港湾です。貨物量の増加への対応や企業立地の促進、船舶利用の安全性向上を図るため、港湾施設や港湾関連用地などの整備を進めています。

本事業の進捗状況について、茨城港湾事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



事業の進捗状況について説明を受ける委員

都市計画道路鮎川停車場線整備事業 (日立市)

本路線は、日立市の南北軸である現道の国道6号と国道245号を東西に結び、さらに、国の事業で進められている国道6号日立バイパスとも接続する延長850mの主要幹線道路です。

本路線の整備により、慢性化した日立市内の著しい渋滞の緩和、災害時における緊急輸送道路の機能強化、さらに、国道6号日立バイパスとの接続により新たな交通ネットワークの形成が期待されています。

本路線の整備状況について、高萩工事事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



路線整備状況について説明を受ける委員

文教警察委員会 (星田弘司委員長)

茨城国体・全国障害者スポーツ大会競技会場と安全運転中央研修所を調査 (5/24)

茨城国体・全国障害者スポーツ大会競技会場
[アダストリアみとアリーナ] (水戸市)

アダストリアみとアリーナは、収容人員5千人を誇るメインアリーナをはじめ、サブアリーナやトレーニング室、多目的室など、多様な室内スポーツに対応した施設を有する県内最大級の体育館で、今年4月にオープンしました。

体育館の概要や整備状況の説明を受けるとともに、アリーナなど体育館の設備の視察を行いました。



アリーナを視察する委員

自動車安全運転センター 安全運転中央研修所
(ひたちなか市)

自動車安全運転センター安全運転中央研修所は、自動車安全運転センター法に基づき、平成3年5月に開所しました。

研修内容の多くは、警察や消防などの緊急自動車を運転するための講習や自動車教習所の研修が主ですが、一般企業向けの研修も行っています。

安全運転中央研修所の概要の説明を受けるとともに、ハイドロプレーニング現象などの同乗体験をしました。



研修内容の説明を受ける委員

県議会を 傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、ぜひお越しください。

なお、児童および乳幼児を連れた傍聴については、申請が必要となりますので、事前にお問い合わせください。

また、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員に声をお掛けください。

その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、お問い合わせください。

お問い合わせ先

議会事務局議事課
電話 029-301-5634

国体・障害者スポーツ大会推進協議会を開催しました

6月13日、川津隆議長を会長とし、全議員で構成される「国体・障害者スポーツ大会推進協議会」を開催しました。

茨城国体、全国障害者スポーツ大会の成功に向けた県議会および議員の取り組みについて、共通認識を図るとともに、両大会の成果を、今後の本県のスポーツ振興や、地域活性化に結び付けていくための協議を行い、行動指針を決議しました。

県議会では、両大会の成功に向けて、率先して機運醸成や来県者へのおもてなしに取り組んでまいります。



国体・障害者スポーツ大会推進協議会の様子

【県議会及び議員の行動指針】

- 一、両大会の普及啓発
あらゆる活動を通じて、本県における両大会開催の認知度向上に努め、県民総参加の機運醸成を図ること
- 一、両大会への参加
炬火イベントをはじめとした、両大会に関するイベントへの参加や競技等の応援・選手の激励など、県民の先頭に立って両大会の盛り上げに努めること
- 一、来県者へのおもてなし
選手や役員、観覧者などの来県者を心のこもった温かいおもてなしで迎えるよう、県民一体となったおもてなしに努めること
- 一、スポーツの推進
競技や障害者スポーツの紹介、デモンストラシヨンスポーツなどへの参加などを通じて、県民のスポーツに対する意欲や関心を高め、本県スポーツ文化の振興に努めること
- 一、茨城県の魅力発信
両大会を機に、観光や文化、県産品、農林水産物など本県が誇る多彩な地域資源を積極的に発信すること

県議会主催の講演会を開催しました

6月24日、県議会主催の講演会を県議会議事堂大会議室で開催しました。講師には、易経研究家の竹村亜希子氏をお招きし、「最古の帝王学『易経』に学ぶリーダー成長論」とのテーマでお話をいただきました。

易経は、儒教の経典「四書五経」の一つで、古代中国では君主の教科書として読まれてきました。

竹村氏からは、易経に出てくる、地に潜んだ龍が修養を重ねて大きく成長していくという「龍の成長物語」を例に、この過程を自分自身と重ね合わせることで、今何がリーダーに求められるかを学び、さらには先々を見極める洞察力と判断力を養うことができるのお話がありました。

また、リーダーは、時流に流されるのではなく、時中、すなわち、そのときに適したことを行うことが重要であるとお話もあり、大変有意義な講演会となりました。



竹村亜希子氏による講演の様子

関東甲信越1都9県議会議長会に出席しました

5月30日、新潟県新潟市内のホテルにおいて「関東甲信越1都9県議会議長会」が開催され、本県議会から川津隆議長および福地源一郎副議長が出席しました。

会議では、各都県が国へ対応を求める要望事項10件を審議しました。本県の川津議長は、児童虐待防止対策の更なる強化を求めることについての要望を提言しました。

各都県から提出された議案はすべて原案どおり可決され、7月開催予定の全国都道府県議会議長会定例総会において、関東甲信越ブロックの議題として提出されるとともに、国会および政府関係機関へ要望することが決定されました。



本県の提出議案を説明する川津隆議長(左側は福地源一郎副議長)

次回の、令和元年第3回定例会は、8月30日から9月26日までの28日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
8. 30	金	議会運営委員会、本会議(開会、知事提出議案説明)
31	土	
9. 1	日	
2	月	休会(議案調査)
3	火	休会(議案調査)
4	水	議会運営委員会、本会議(代表質問・質疑)
5	木	本会議(代表質問・質疑)
6	金	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
7	土	
8	日	
9	月	本会議(一般質問・質疑)
10	火	本会議(一般質問・質疑)
11	水	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
12	木	休会(委員会審査準備)
13	金	休会(常任委員会)
14	土	
15	日	
16	月	(敬老の日)
17	火	休会(常任委員会)
18	水	議会運営委員会 本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
19	木	休会(産業の育成・振興に関する調査特別委員会)
20	金	休会(予算特別委員会)
21	土	
22	日	
23	月	(秋分の日)
24	火	休会(決算特別委員会)
25	水	休会(議事整理)
26	木	議会運営委員会、本会議(委員長報告、採決、閉会)

出前委員会の開催について

茨城県議会では、開かれた議会を目指し、県議会議事堂以外の場所において文教警察委員会(星田弘司委員長)を開催いたします。県政の課題に関する委員会審査の様子を、ぜひ、ご覧ください。

【文教警察委員会】

- 日程 令和元年10月29日(火)
- 場所 茨城大学
- テーマ 次世代を担う「人財」育成

※傍聴を希望される方は、県議会事務局議事課までお申し込みください。
電話 029-301-5634



昨年の出前委員会の様子